

前本會評議員工學博士渡邊君の小傳

前東京帝國大學工科大學長名譽教授正三位勳一等工學博士渡邊君は渡邊眞氏の長男にして、安政四年七月二十七日長崎勝山町に生る。資性英敏夙に郷黨に令名あり。明治四年三月大學南校に入り同十三年二月東京帝國大學理學部探鉱冶金學科を卒へ理學士の稱號を得。同年三月理學部准助教授に任せられ續いて翌年七月同助教授に進む。十五年五月探鉱冶金學研究の爲め獨逸に留學しフライベルヒ鑛山大學に入り十七年三月業を終へ歐米の諸鑛業地方を巡視して同年十一月歸朝せり。直ちに東京帝國大學御用掛となり、十九年三月東京帝國大學工科大學教授となり探鉱冶金學科を擔當せり。同年七月農商務省技師を兼任し二十年六月更に佐渡鑛山局技師を兼任せり、二十二年六月累進して佐渡鑛山局支廳長となる。二十四年八月工學博士の學位を授與せらる。三十年十一月農商務省鑛山局長となり、三十二年五月再び歐米へ差遣せられ同年十一月歸朝せり。三十五年三月鑛毒事件調査委員及製鐵事業調査委員に任せられ、同年十二月工科大學長に任せらる。

爾來常に身を鑛業に捧け其鑛業界に貢獻する所擧げて數ふへからず。四十年二月日本鑛業會々長に選舉せられ、大正六年三月日本鐵鋼協會評議員に選舉せらる。大正七年十一月工科大學長を辭し同時に多年の功勞に因り勳一等瑞寶章を授けられ正三位に叙せらる。八年二月勅旨を以て東京帝國大學名譽教授の名稱を賜はれり。同三月日本鐵鋼協會評議員を辭せらる。同月より病みて療養中なりしか藥石効なく終に六月二十九日東京市本郷區駒込林町の自邸に薨去す享年六十三歳なり。